

2021/06/01

日本 GIF オンラインセミナー
「水素社会と国際社会-水素社会の課題と展望」
実施報告書（概要版）

公益財団法人日本グローバル・インフラストラクチャー研究財団

セミナー開催概要

- 主催：公益財団法人日本グローバル・インフラストラクチャー研究財団
- 日時：2021年5月19日(水) 14:00～15:45
- 開催形式：Zoom を利用したオンライン形式（ウェビナー）
- 事前の告知方法：日本 GIF の HP での告知（別添：「開催案内」）、日本 GIF 関係者へのメールでの告知、講演テーマに関連するメーリングリストでの告知、JICA サイト（JICA パートナーズ）での告知を実施した。
- 講演者：金田武司氏（株式会社ユニバーサルエネルギー研究所代表取締役社長）
- 司会者：坂本晶子（日本 GIF 事務局長）
- プログラム内容：
 - 14:00 開会挨拶 坂本晶子
 - 14:05 講演 金田武司氏
 - 15:10 質疑応答
 - 15:45 閉会 坂本晶子

開催の趣旨

日本 GIF は、持続可能な社会の実現のため、「脱炭素社会」について研究を続け、水素にも10年以上前から注目してきた。現在、コロナ禍からの経済回復を目指し、世界で公民による「グリーン投資」が活発になっている。日本でも、水素のサプライチェーンや、「水素社会」のパイロットプロジェクトが推進されている。こうした状況の中で、水素を利用して何を実現すべきか、「水素社会」を構成するインフラの現状と課題、日本の国際的な立ち位置を確認し、「水素社会」を世界に展開し持続可能な社会の実現につなげていくための日本の役割について改めて検討するため、本セミナーを企画した。

講演者として、エネルギー政策・再生可能エネルギーの専門家であり、数多くのメディア出演や講演で情報発信力に定評のある株式会社ユニバーサルエネルギー研究所代表取締役社長の金田武司氏を迎え、広く一般にわかりやすい情報を発信することを志向した。

講演概要

水素の利活用方策の立案にあたっては、「水素を使って何を実現したいのか、そのためにどれだけのコストをかけるのか」を事前に十分検討する必要がある。CO₂削減のためだけであれば、水素利用以外の方策は多数ある。アメリカは中東からの自立のため、水素の利用に力を入れてきた。日本はエネルギーインフラが国外と接続されておらず、エネルギーの自給率も低い。オイルショックなど歴史に学び、エネルギー安全保障を確保するために何をすべきかを考える際、水素はその選択肢の1つとして有効である。

<質疑応答>

水素の安全性、水素の安価な製造技術、FCV と EV の比較、日本の水素関連技術の国際的優位性等について、質疑応答がなされた。

アンケート・感想

参加者に対し、Zoom の自動送信メールでアンケートへの回答を依頼した。セミナー情報の入手先、実施内容の評価、今後のセミナーへの期待等について貴重なご意見を頂戴した。

また、今後のセミナー企画の参考のため、当財団のインターンにセミナーへの参加を促し、コメントを得た。

以上